

# ■所管課へのヒアリング結果

用途	施設名称	所管部課	施設の現状について	今後の施設のあり方について	検討可能な再編方法
集会施設	大市場町公会堂	建設部上下水道課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元行政区を指定管理者とする指定管理制度を導入し、指定管理料は無料。利用料金制となっており、利用料は区の収入となる。</li> <li>・利用は基本的に地元住民のみ。</li> <li>・北島町多目的センター、川井町文化会館は地元所有の公会堂があり利用率も低い。</li> <li>・北島町多目的センター、川井町文化会館は消防ポンプ小屋も兼ねている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えは考えていない。</li> <li>・老朽化した施設の地元譲渡は難しいと考えられる。</li> <li>・周辺対策施設として設置されているため、原因施設が有る以上、譲渡の合意を得るのは難しいと考えられる。廃止の際には代替施設が必要である。</li> <li>・北島町多目的センター、川井町文化会館は地元所有の公会堂への統合は検討できるのではないかと。</li> <li>・県の補助金等を使用し建てられているため、減価償却期間50年までは廃止は原則不可であり、補助要件に市が管理する施設で地域住民が主に利用するとあるので確認が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が遠いため学校への複合化は不可</li> </ul>
	曾野町公会堂				—
	東新町公会堂				—
	北島町多目的センター				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元所有の公会堂への統合</li> <li>・学校が遠いため学校への複合化は不可</li> </ul>
	川井町文化会館			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元所有の公会堂への統合</li> <li>・学校が遠いため学校への複合化は不可</li> </ul>	
学習等共同利用施設	八剣会館	教育こども未来部生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者として地元行政区が管理しており、指定管理料は無料。利用料金制をとっている。</li> <li>・地元が手配した土地を無償利用している。</li> <li>・大上市場会館は、5区で管理しており、施設の管理が負担との意見がある。</li> <li>・老朽化による修繕が後を絶たない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えは考えていない。</li> <li>・学習等共同利用施設は、地元の集会所としての役割から身近な距離に設置されている必要があり、同様の施設を統合することは地元の理解が得られないのではないかと。</li> <li>・ふれあいセンター、くすのきの家が地元の集会所として利用されているように近隣に複合化が可能な施設が立地している場合は、複合化は可能だと思われる。</li> <li>・区所有の公会堂と同様の管理運営形態となることから一部の学習等共同利用施設については、区への譲渡が可能と思われる。</li> <li>・大上市場会館は、不要と考える区もあるが、サークル活動等により利用効率は良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化(近隣に対象施設が有る場合)</li> <li>・譲渡</li> </ul>
	東町会館				
	大上市場会館				
	神野会館				
	泉会館				
	中野会館				
	石仏会館				
井上会館					
文化施設	岩倉市民プラザ	総務部協働推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動が活発に行われている現状からも市民活動の拠点である市民プラザの利用は年々増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替予定はない。</li> <li>・建替の際は複合施設である子育て支援センター及び併設施設である図書館との調整が必要。</li> <li>・生涯学習センターとの複合化は、性格的に似ているため考えられるが、生涯学習センターの利用状況は飽和状態である。</li> <li>・子育て支援センターは北部にももう1施設あると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館との複合化</li> </ul>
図書館	岩倉市図書館	教育こども未来部生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が不足している</li> <li>・ジュニアオーケストラの備品を保管している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅との複合により飲食店や保育所を誘致し、岩倉市の顔となり集客が図れるような複合化ができるとよい。</li> <li>・PFI事業による現在の立地への市民プラザとの複合化を検討してはどうか。</li> <li>・市民プラザとの複合化は音楽活動への配慮が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民プラザとの複合化</li> </ul>
その他社会教育系施設	青少年宿泊研修施設希望の家	教育こども未来部子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状小学生は近隣自治体の宿泊施設を利用している。</li> <li>・保育園と幼稚園が宿泊施設を年1回だけ利用している。</li> <li>・平成30年度で現在の指定管理者への委託が終了予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間への譲渡は施設の老朽化や利用者の減少を考えると、現状の設置目的では難しいと考えられるため、途変更の必要があるのではないかと。</li> <li>・当初売りであったお風呂や天体望遠鏡等の利用は減っているため、修繕の有無の検討が必要である。</li> <li>・施設を全て維持するのではなく、宿泊施設は廃止し、最低限の管理棟とデイキャンプ場を残しキャンプや陶芸は続けるといった検討も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・譲渡(但し用途変更等必要)</li> <li>・広域化(宿泊施設)</li> <li>・宿泊施設の廃止</li> </ul>
	生涯学習センター	教育こども未来部生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習サークルは全部で102団体。</li> <li>・活動場所が本施設に限定されるものが多い。(スタジオ、料理室、工芸室等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点においては、効率的な管理運営が行われていると考えており再編すべきではないと思われる。</li> </ul>	—
スポーツ施設	総合体育文化センター	教育こども未来部生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度を採用しており、指定管理者の収入は空き室を利用した自主事業となっている。</li> <li>・多目的ホール、アリーナは催しが多く、土日に他施設で行っていた行事を行うことは難しい。</li> <li>・2階の会議室、研修室は、比較的利用率が低い。</li> <li>・大きなイベント時には、西側の広場や岩倉中学校のグラウンドを駐車場として利用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は指定管理者による管理運営を行っているため、複合化の状況に応じて業務内容等を精査する必要があるが、複合化は可能と考えられる。ただし、利用者の増加に伴い、駐車場等の増設は必要と考える。</li> </ul>	—
学校	岩倉北小学校	教育こども未来部学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き教室の利用法は、特別教室にする等各学校に委ねている。特別教室の配置については設置義務があるわけではない。</li> <li>・1クラスの最大人数は、小学校1、2年、中学校1年では最大35人、その他の学年は40人である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての小学校において建替えが必要。</li> <li>・児童生徒数の減少だけを捉えての統廃合は考えていない。</li> <li>・低稼働率の教室を多目的に利用した複合化の検討が望ましい。</li> <li>・他施設との複合化は動線に配慮した棲み分けが必要であり、駐車場の整備も必要となる。</li> <li>・五条川小学校は放課後児童クラブの施設を建設予定。</li> </ul>	—
	岩倉南小学校				<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館・学習等共同利用施設等との複合化</li> </ul>
	岩倉東小学校				<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園・児童館・学習等共同利用施設等との複合化</li> <li>・ダウンサイジング</li> </ul>
	五条川小学校				—
	曾野小学校				—
	岩倉中学校				—
南部中学校	—				

用途	施設名称	所管部課	施設の現状について	今後の施設のあり方について	検討可能な再編方法
その他学校教育系施設	学校給食センター	教育こども未来部学校教育課	・平成28年度建設の新しい施設である。	-	-
保育園	中部保育園	教育こども未来部子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩倉市全体として保育の必要性を考慮しており、民間保育園や認定こども園が設置された結果として、公立保育園に空き教室が出ている。</li> <li>・駐車場については北部保育園は配水場を利用しているが、その他の園は駐車場が不足している。</li> <li>・平成24年に初めて民間保育園を設立(現在2園)。</li> <li>・公立幼稚園を認定こども園(現在では3園)に変更し学校法人(3社)により建設。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再編の際は駐車場の検討が不可欠である。1園6～10台が理想である。</li> <li>・他施設と複合化する際は、園舎を2階までにおさえることと園庭の独立した確保が必要である。</li> <li>・保育園の民営化は市民の反対により困難が予想される。</li> </ul>	・当面は継続し、北部保育園との統合
	北部保育園				・当面は継続し、中部保育園との統合
	南部保育園				・西部保育園を統合
	東部保育園				・継続
	西部保育園				・当面は継続し、南部保育園との統合
	仙奈保育園				・岩倉東小学校との複合化
	下寺保育園				・継続
児童館	第二児童館	教育こども未来部子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで児童館で実施してきた学童保育については、基本的に学校内や隣接地に設置するよう方向転換を図っている。</li> <li>・学童保育には、広めの部屋が最低2部屋必要である。</li> <li>・現在は岩倉南、岩倉東小学校で放課後児童クラブを実施している。(余裕教室があるため)</li> <li>・五条川小学校敷地内に放課後児童クラブの専用施設を建設予定である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区に1箇所は必要である。</li> <li>・小学校への複合化は、駐車場の整備が課題となる。</li> <li>・第六児童館を廃止し、さくらの家を利用することは施設規模の面からは可能である。但し、児童をみる職員の確保が必要。</li> <li>・第二児童館は、岩倉北小に併設されている市立体育館の改修に合わせ放課後児童クラブの施設を複合化することで廃止が可能ではないか。ただし、児童館機能を補う施設の検討が必要。</li> <li>・第七児童館は曾野小学校内に放課後児童クラブの施設を整備することで廃止の検討ができるのではないかと。</li> </ul>	・市立体育館と複合化
	第三児童館				・継続
	第四児童館				・防災コミュニティセンターとの複合化
	第六児童館				・放課後児童クラブが五条川小学校へ移転した後廃止
	第七児童館				・放課後児童クラブを曾野小学校に移転させ、廃止
地域交流センター	地域交流センター(ポプラの家)	教育こども未来部子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談のための来館やサークルでの利用など、子育て中の親を中心に利用ニーズが高い。</li> <li>・くすのきの家は、中本町が集会所として使用。</li> </ul>	・平成28年度から東部包括支援センターを開設したばかりのため、当分の間、継続	・継続
	地域交流センター(みどりの家)			-	-
	地域交流センター(くすのきの家)			-	-
子ども発達支援施設	あゆみの家	教育こども未来部子育て支援課	・利用児童数が増加傾向にある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員の拡大が必要である。</li> <li>・立地場所や建物のハード面よりもソフト面を重視することが重要である。保健センターと複合化または保健センターの近隣に配置することで、専門的な療育を身近で受けられるようになり、子どもの親にとっても安心感が生まれると考えられる。</li> <li>・専門的な技術を持つ民間であれば、民営化の検討も可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターと複合化または保健センターの近隣に配置</li> <li>・民間の事業者に運営委託</li> <li>・保育園と複合化</li> </ul>
高齢福祉施設	南部老人憩の家	健康福祉部長寿介護課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お風呂、老人クラブのカラオケ、サークル、囲碁、会長会、幹部会、陶芸などに利用しており、60歳以上の市内住民が受付すれば利用可能となっている。</li> <li>・岩倉市老人クラブ連合会に施設の運営管理を業務委託しているため、人件費も低コストに抑えられ、高齢者の生きがいにつながっている。</li> <li>・施設自体は手狭ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えの予定はない。</li> <li>・建替えの際、高齢者が増えているので規模縮小は難しい。</li> <li>・お風呂の設置が補助の要件であるため、使用料の徴収や施設を廃止することは困難である。</li> <li>・他施設との複合化の際は、駐車場、入浴施設が問題となる。</li> <li>・保育園、小学校、児童館、市民プラザ、保健センター、総合体育文化センター、生涯学習センターとの複合化が考えられる。</li> <li>・民営化に関しては、半官半民の運営が良いのではと考える。</li> <li>・大地ふれあい広場(高齢者の介護予防遊具設置)も合わせて検討が必要である。</li> <li>・南部憩の家の場所としては、多世代交流センターさくらの家とのバランスを考えると岩倉市の南部地域が望ましい。</li> </ul>	・保育園、小学校、児童館、市民プラザ、保健センター、総合体育文化センター、生涯学習センターとの複合化(但し、入浴施設が課題となる。)
	ふれあいセンター	健康福祉部福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内に社会福祉協議会(地域包括支援センター)、シルバー人材センターがある。</li> <li>・新柳町の集会施設としても利用している。</li> <li>・貸室の稼働率が低くなっているが、社会福祉協議会が会議室として使用している。</li> <li>・駐車場に余裕がなく、利用者が多い場合には近隣の土地を使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置目的からも、社会福祉協議会で管理を行うのが適当と思われる。</li> <li>・統合や複合化については、広いスペースが必要になるため現在ある施設の中で適当と思われる施設はない。</li> <li>・手狭な状況にあることから民間貸付や複合化は難しい。</li> <li>・社会福祉協議会に指定管理の協定を結んでおり、再編となれば社会福祉協議会の運営も含めた話になるため、現実的には困難な話だと思われる。</li> </ul>	-
	多世代交流センターさくらの家	健康福祉部長寿介護課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブの事務所にもなっている。</li> <li>・施設自体は手狭ではない。</li> <li>・駐車場が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託については、子どもの安全面の確保等の観点から半官半民の管理が望ましい。</li> <li>・老人クラブやシルバー人材へ管理や運営を委託することも検討可能と思われる。</li> </ul>	-
保健施設	岩倉市保健センター	健康福祉部健康課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が少なく、乳幼児健康診査や特定健康診査、がん検診などの際は、市役所の駐車場を使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えの予定はない。</li> <li>・医師会による特定健康診査が行われているため、保健センターと休日診療所の場所を切り離すことは困難であり、建替えの際複合化することは可能だと思われる。</li> <li>・あゆみの家の児童の受入れが困難な場合は保健センターで対応している。両施設を複合化することにより、サービス面での向上が期待できると考えられる。</li> <li>・子育てに力を入れるなら、あゆみの家、子育て支援センターとの複合化が考えられる。</li> </ul>	・休日診療所、あゆみの家、総合体育文化センター、ふれあいセンター等との複合化
医療施設	岩倉市休日急病診療所	健康福祉部健康課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日は休館しており、午後から医師会の職員が事務所として使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防や介護予防など、健康面のサポートという観点から総合体育文化センターとの複合化は検討可能でありダウンサイジングも可能と考えられる。</li> <li>・高齢者に重点を置くのであればふれあいセンターとの複合化が考えられる。</li> <li>・予防接種、各種健診等はその後の支援につなげていくため、民間委託は難しいと考えられる。</li> </ul>	・保健センターとの複合化
庁舎等	市役所	総務部行政課	-	-	-

用途	施設名称	所管部課	施設の現状について	今後の施設のあり方について	検討可能な再編方法
消防施設	消防署	消防本部総務課	-	-	-
	第1分団車庫	消防本部総務課	-	-	・清掃事務所との複合化
	第2分団車庫	消防本部総務課	-	-	-
	第3分団車庫	消防本部総務課	-	-	-
	第4分団車庫	消防本部総務課	-	-	-
	防災コミュニティセンター	消防本部総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時は防災意識の高揚、自主防災活動の推進のため活用し、一般的な貸館としての性格は小さい。</li> <li>・管理に人件費を投入していないため、指定管理の検討対象とはならない。</li> <li>・現在の利用の3分の1程度が大山寺の集会施設としての利用である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第四児童館との複合化は検討できるのではないか。(但し、防災コミュニティセンター、第四児童館ともに新しい施設であることに留意)</li> <li>・第四分団車庫との複合化は検討できるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第四児童館との複合化</li> <li>・第四分団車庫との複合化</li> </ul>
その他行政系施設	清掃事務所	市民部環境保全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階は書庫として利用しており、事務所部分にスペースの余裕はない。職員用の入浴施設もあり毎日使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの収集運搬の基地、資源回収の拠点という性格上、他施設との複合化には適していないと考えられ、単独での事業展開が良いと思われる。</li> <li>・ごみ収集のコースを委託した場合、人員や車の台数に応じて規模を縮小できるが、これ以上の委託は無いと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する配水場との複合化</li> <li>・第一分団車庫との複合化</li> </ul>
公営住宅	市営大山寺住宅	建設部都市整備課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅の日常的な管理は、管理人(入居者)が行っており、民間への委託は高額になるとと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えの予定はない。</li> <li>・家賃等の入居条件を変えずに引き受ける民間業者出るとは考えづらい。</li> <li>・民間賃貸住宅の利用をする場合は、一定期間家賃補助をする等の制度が必要であると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止(民間賃貸住宅を使用)</li> </ul>
その他	岩倉市放置自転車保管所	総務部危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放置自転車対策事業は大幅な人員削減を行っており指定管理者制度導入によりコスト削減につながるとは考えにくい。</li> <li>・施設自体は手狭であるが、放置自転車を月に1回リサイクルとして専門業者に売却することや、鉄くず業者に廃棄を依頼などの取組みを行っているため、現状の規模で特に問題はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所は、放置自転車が多い岩倉駅周辺が良いが、自転車等放置禁止区域外でも可能である。</li> </ul>	-
	自転車駐車場	総務部危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市がサクランド岩倉の一部を買い取り設置した施設であり、稼働率は概ね95%程度である。(定期利用100%、一時利用わずか)</li> <li>・現在は100台から200台程度の小規模な施設が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・500台以上の大規模施設の方が、施設管理や自転車盗等の防犯面からも良いと思われる。</li> </ul>	-